

この人に聞く

カジ・グループ 社長
梶 政隆 氏



マシンリーの2分野で事業を展開する。経営のポ
リシーは「感動を創る」
だ。

◇ 現在の心境を。

石川産地のカジ・グループ全社の社長に就いて、ほぼ2カ月。42歳で経営を引き継いだ。グループはカシレーネ(織物製造業)、カシナイロン(かさ高加工系製造業)、カシニット(ニット生地製造業)、カシソウイン(縫製業)、梶製作所(縫製業)、梶製作所の5社。テキスタイルと

肌で感じて
る手立てもある。先も見
ている。
え易くなる。

——糸と織・編み事
業の訴求ポイント

誇っている。またニット
ではハイゲージ化に対応
した設備力で、提案力と
潜在能力はある。それを

抽象的だが「感動を創
る」。この基礎は人だ。

——経
営の
じ取り
につい
て。
会長が基
からグル
ープを
「創造力」と「想像力」

は。
私たちの使命は、世界
に誇る「品質力」の源泉
を担い、縫製までをライ
ンアップして、顧客の
「創造力」と「想像力」

QRを特長としている。
テキスタイル一貫生産の
比率をより高める計画
で、基本的に海外には出
ない。

顧客と共同で企画開発
する機会が増えたことも
あり、3年前に会社のエ
ントランスを「男前」に
変えた。以降、来訪する
顧客の頻度が増してい
る。目に見えた費用対効
果は10%だ。現在、自販比
率も10%だ。が、顧客か
ら逆指名がかかる企業に
なりたい。

この立場に就くことを
2、3年前から意識して
いた。繊維機械、糸加工
そして織・編み事業の素
晴らしいグループ基盤を
目指す。多角的な事業
基盤があるので、ものす
ばい量の情報などを得る
ことができるといって打
てている。

方を堅実に踏襲する。身
指す大号令をかけ、勉強
会を行ってきている。自
ベルグ複合加工系を中心
とした異種混織や機能性
の特殊加工をはじめとし
て、超極細・軽量糸のト
レンドにも意欲的に挑戦
している。カシレーネは
軽量高密度織物の技術を

本としていた「常に、進
化し続ける」という考え
TE S資格認定取得を目
い価値創造を推進してい

「創造力」と「想像力」
をインスパイアし、新し
い価値創造を推進してい

——貴社を訪れる顧
客は多い。
顧客と共同で企画開発
する機会が増えたことも
あり、3年前に会社のエ
ントランスを「男前」に
変えた。以降、来訪する
顧客の頻度が増してい
る。目に見えた費用対効
果は10%だ。現在、自販比
率も10%だ。が、顧客か
ら逆指名がかかる企業に
なりたい。

ポーツ、婦人アウター、
資材分野の拡充を図り、
売り方についても、中身
の向上を図る。

「感動を創る」

——改めて会社のポ
リシーを。

先と長くウイン・ウイン
の関係構築して事業展開
する。

先と長くウイン・ウイン
の関係構築して事業展開
する。

先と長くウイン・ウイン
の関係構築して事業展開
する。

先と長くウイン・ウイン
の関係構築して事業展開
する。

先と長くウイン・ウイン
の関係構築して事業展開
する。